



# サルビア

令和12月3日 第87号

## 人権集中学習が始まります

12月10日は世界人権デーです。日本ではこの日を含む直前の1週間を（4日～10日）までを「人権週間」と指定しています。赤堀東小学校でも本日から10日までを人権集中学習の期間とし、各クラスで人権に関する学習を行います。集中学習のスタートは「校長講話」、以下のような話をしました。

（一部抜粋）

～ 私は国語の教師なので、人権にかかわる「言葉」について話をしたいと思います。皆さんは人の嫌がる言葉、いくつ思いつきますか。実際には声には出さずに、心の中でつぶやいて指折り数えてごらん下さい。

次に言われてうれしくなる言葉、思い浮かべていくつ知っているか、指折り数えてごらん下さい。いくつ思いつきましたか？どちらをたくさん知っていましたか？

私がまだクラス担任だった頃、必ず自分のクラスに今と同じことを聞きました。15年も前に、6年生を担当したときも聞いてみただんです。すると人の嫌がる傷つく言葉を最高で38個知っている子がいました。すごいでしょ？どんな子だったと思いますか？

いいえ、ひとりである子には声をかけたり、「そんなこと言わない方がいいよ」って明るく言える、そんな子でした。その子はとても優しい子だったんです。「嫌な言葉はたくさん知っているけど、俺、つかわないよ。」ってその子は高らかに言いました。知っていることが悪いんじゃない、問題は「使う」ことです。

時々ですが校長室に座っているときも聞かされます。「○○」「▼▼」「□□」「☆☆」（全てチクチク言葉です。）という言葉。みなさんは分かっているはずですが。知っているはずですが、相手を傷つけるために使う言葉だということ。「軽い気持ちで言ったんだ。いじめるつもりじゃなかった」と思うかも知れないですね。でもね、言葉には力があります。離れているところで聞いている私も、まるで自分が言われているように感じて苦しくなってしまうんです。

私も小学生の頃、お友だちを傷つけるようなことを言ったことがあります。私よりおとなしい女の子でした。今でも思います。「あのとき、あの子に、あんなこと言わなきゃよかった。」で、ひよっとすると、私がかけた言葉ですとその子は悲しい思いをしているかもしれない。でも一度言ったことは無かったことにはできません。一生の宝物になる言われてうれしい言葉もたくさんあったけど、そのお友だちに向かって言った短い一言が、40年以上も経った今も私を苦しめています。

繰り返します。自分も友だちもひとり一人が違うということを知り、それぞれの違いを大切にすることを考える一週間です。この学習の後に皆さんが、赤堀東小の子どもたちがすてきな言葉の使い手になってくれることを、私は願っています。

## 言葉の力